

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー月信
Vol.4

To Club Presidents and Secretaries in District 2790(CHIBA)
Copy for members



NARITA花火大会in印旛沼 地元有志のボランティアと花火職人が創り上げる「観客参加型花火大会」。2010年に花火大会初のグッドデザイン賞受賞。

国際ロータリー第2790地区

ガバナー 諸岡 靖彦

地区スローガン「ロータリーから千葉を元気に」

ロータリー特別月間／経済と地域社会の発展月間／米山月間

10

2019

October

元気なクラブを創りましょう!——管理運営のベースをつくるCLPのすすめ



国際ロータリー 第2790地区

2019-20年度 ガバナー 諸岡 靖彦 (成田RC)

7月23日よりクラブ公式訪問が始まりました。9月末までに29回の訪問で、44クラブを訪ねました。クラブの運営と奉仕活動の方針を伺い、現状と将来の会員基盤の確認、クラブが抱える諸問題についても対話して、クラブリーダーが自信を持ってクラブ運営に取り組んでいけるよう見解を示し、激励し、鼓舞しています。

順調に運営を進めているクラブの共通点は、

- 1) 会員基盤の維持、拡大に見通しを持っている
- 2) 地域社会のニーズに叶った奉仕活動を計画している
- 3) 地区やロータリー財団、米山記念奨学会への会員の理解を進め、寄付やプログラムに参加しようとしている
- 4) 若手会員が生き生きとクラブに参加していることです。

訪問時の例会やクラブ協議会の進行、会議の雰囲気には、現在のクラブリーダーがこれまでクラブの伝統を築いてこられた先輩ロータリアンと一体となっているかどうかによって、その差を感じ取ることができました。

地区ガバナーには、クラブが効果的に運営されているかどうかを見極めて、改善策を示し、ガバナー補佐を通して適切な強化策によってクラブを支援する責任があります。R Iはクラブに対して効果的なクラブ管理の枠組みを示し、クラブを強化するモデルプランを推奨しています。これがCLP (クラブリーダーシップ・プラン) です。

他方、R Iは地区がクラブを支援するための組織基盤として、DLP (地区リーダーシップ・プラン) の採用を義務付けています。CLPがクラブの自主性 (クラブの自治) に任されていて、DLPは地区の義務であることのズレが、クラブ支援を使命とする地区ガバナーとしては、クラブとの距離を感じてしまう理由かもしれません。

R IがCLPを打ち出したのは2004年11月の理事会でした (CLPの採択と同時に、当時の4大奉仕を標準クラブ定款に組み込むことも決定しています)。2005年のロータリー100周年を目前にして、奉仕の2世紀目への舵取りで、それぞれのクラブが「あるべきクラブの理想像」や独自の特性 (アイデンティティ) を構築し、これを長期計画や年次計画に盛り込み、クラブの中期的な目標やビジョンに合致した独自の委員会を組成し、積極的な委員会活動を行えば、結果として魅力的なクラブとなり、地域社会から尊重され、入会したいクラブになる…これがCLPに期待される

背景でした。(日本のロータリアンの中には突如の決定に戸惑い、R Iが効率や機能に走ることに疑問を抱く向きもありました)

R Iは、魅力的なクラブを創る9段階の手順を示し、土台づくりのモデルを提供しています。私は、この考え方は有効であると考えております。

- 1) 効果的なクラブを目指す戦略計画を持ち
- 2) 年次目標をRCセントラルに入力し
- 3) 会員が戦略計画に参加し、クラブ協議会で計画実行が話し合わせ
- 4) クラブリーダーと地区リーダーとの間で、明確なコミュニケーションが確実に図られ
- 5) 将来のロータリーリーダー育成を図るための引き継ぎ計画を含め、リーダーシップの継続性を確保し
- 6) クラブ委員会組織とクラブリーダーの役割、責任がクラブ細則に反映され
- 7) クラブ員間の親睦をさらに深めるような機会が提供され
- 8) 会員全員がクラブのプロジェクトや業務に活発に関与し
- 9) クラブリーダーは地区研修会合に出席し、新会員のための一貫したオリエンテーションが定期的に用意され、現会員のために継続的な教育機会が提供されて、全会員が指導力育成プログラムに参加できる包括的な研修計画を立案し、実施する。(ロータリー章典2. 020)

こうしてクラブが元気になれば、会員基盤の維持・拡大が進み、地域社会のニーズに合致した奉仕活動が活発になり、ロータリーの公共イメージが向上して、ロータリー財団や米山記念奨学会への寄付やプログラムへの参加が促進されて、クラブの枠を超えて活動するロータリアンが育ち、クラブ成長への好循環が生じてきます。地区はこうした方向を目指して、クラブを支援します。クラブと地区の距離感を埋めましょう。クラブは戦略計画を備え、会員がクロスプロモーションで活動できるように、クラブ管理運営面の整備と委員会の活性化に努めましょう。

クラブ戦略計画を立案するプロセスでクラブにCLPを導入することは、会員数に関わらずクラブの管理運営面に確かな骨格を与え、クラブのさまざまな活動が安定化して、クラブに積極性をもたらします。組織は戦略計画に従って組成され大中小のクラブ規模によって戦略計画は変わりますから、組織の立てつけも変わってきます。今年度は、地区管理運営統括委員会より「クラブ活性化支援チーム」を派遣し、クラブの要請に応えます。地区ガバナー事務所もしくは管理運営統括委員長にご相談ください。



米山月間です、米山奨学金事業にご協力をお願いします!!

国際ロータリー 第2790地区
2019-20年度 米山記念奨学委員会
委員長 **鈴木 荘一** (君津RC)

本年度米山記念奨学委員会を担当することになりました、君津RCの鈴木荘一です。委員7名そして奨学生に対して、地区会員皆様のご指導ご鞭撻をよろしくお願いします。我々地区委員は予定したプログラムを「全員」で「大きな和」で取り組んで参ります。

◇世界をつなぐ「日本と母国の懸け橋」

「ロータリーの理想とする国際理解と親善に寄与すること」を目的としている米山記念奨学会は、2017年に50周年を迎え、これまで支援してきた奨学生は127の「国」と「地域」にまたがり、累計20,390名以上が卒業した国内で民間最大の規模の国際奨学事業となりました。“将来日本と世界を結ぶ懸け橋となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる”人材を育成するという事業の使命への期待は増々高まっております。

◇米山記念奨学事業＝「未来への投資事業」

私たち地区委員会の役目は、奨学生・カウンセラー・学校指導教官皆様の「交流のステージ」である世話クラブをバックアップしながら、「奨学生を育成する」「活動を支える寄付増進」をすることです。思いが結果として表れるまでには、大変な時間を要します。現在の奨学生への取り組みは「未来への投資」ということを実感できるように、ご理解・周知に努めていきます。

◇「奨学生はロータリーの新しいメッセンジャー」

先般の全国米山委員長会議に参加した際、基調講演において埼玉大学の中本教授が次のようなことを話されていました。

「優秀な大学の国際ランキングを重視するあまり授業の国際化が進み、日本文化に触れる留学生が少なくなり、日本社会・日本人とも限定的な付き合いになってきている。今後ますます人材確保の国際競争が始まり、激しくなっていく。人材不足、少子化が進みにつれ留学生で国力を維持していく時代になる」と。

こうした時代の流れの中、カウンセラー制度のある米山奨学記念事業は、ますます存在感を増してくるような気がしますが、いかがでしょうか？ 将来のリーダーとなり得る奨学生へ、地区内の会員皆様から「奨

学生と触れ合う機会」のご提案をいただき、ロータリーの多様性を広げる奨学生が、ロータリーの新しいメッセンジャーとなる役割をサポートしてまいります。

◇「地区内全クラブのご担当者様!! 奨学生の卓話依頼をお願いします」

もう1つは例会、情報研修会、IM等での奨学生の卓話を通じ、米山の意義を伝えることです。卓話につきましては、委員会で奨学生の卓話内容を精査して、しっかりと米山奨学事業のメッセンジャーとしての役割を果たしてもらえるように努力してまいります。

◇「諸岡ガバナー年度1人当たり15,000円達成へ」

諸岡靖彦ガバナーが掲げる「1人当たり寄付目標額15,000円」を達成に向け努力してまいりますのでご協力をお願い申し上げます。私たち地区委員会も多くのロータリアンの寄付金へ託す思いを、できるだけかなえる環境を整えます。

◇千葉を元気に!!「地域に存在感のあるロータリークラブ」

今年度のR Iのテーマは「ロータリーは世界をつなぐ」です。諸岡ガバナーは「ロータリーから千葉を元気に」というスローガンの中で、奨学生をはじめとする若い世代の方々にも、積極的にロータリーファミリーの中に入ってもらうということを奨励していきます。中でも地区内で「ロータリー学友連絡協議会」を新設し、若い世代が「つながり」ながらロータリーを発信していく方針を掲げてます。

今や20,000人に及ぶ学友会は大きな財産となっております。現役奨学生には、こうしたロータリーのファミリーに入って活躍することを念頭に、ロータリーを理解していただき、共に活動して参りたいと思います。地区内会員皆様にもぜひ共有していただきたいと思います。

米山奨学事業を通じ、かけがえのない出会いを重ね、お互いの価値観を共有することでつながりを持ち、郷土愛の強い諸岡ガバナーが掲げる「千葉を元気に」するクラブ、「地域に存在感のあるロータリークラブ」になるようにプログラムを進めてまいりますので、今年1年どうぞご指導とご協力をよろしくお願いいたします。

2019学年度 米山奨学生紹介

- ①氏名
- ②国籍 ③学校名称
- ④世話クラブ
- ⑤カウンセラー



①ゲン ミン タム
②ベトナム ③敬愛大学
④千葉港RC
⑤岩澤 和夫



①ヨウ コウナン
②中国 ③国際武道大学
④勝浦RC
⑤関 正夫



①フェルナンド ワンナクワッタ
②スリランカ ③千葉工業大学
④千葉RC ⑤宮腰 次郎



①エン チョウ ②中国
③千葉商科大学
④松戸RC
⑤日暮 幸信



①エン コウ ②中国
③千葉大学
④柏RC
⑤関 学



①チン ルイ
②中国 ③千葉大学
④佐倉RC
⑤望月 庄子



①チン ホンユー
②台湾 ③千葉大学
④市川東RC
⑤山中 右次



①ホアンティフーンロアン
②ベトナム ③敬愛大学
④船橋みなとRC
⑤中野 陽介



①ファム ティフォン
②ベトナム ③秀明大学
④市原中央RC
⑤大倉 崇



①ラミーメイメイトジャン
②ベトナム ③順天堂大学
④千葉西RC
⑤遠藤 あけみ



①ミョウ リキン
②中国 ③城西国際大学
④鴨川RC
⑤渡辺 淳一



①リョウ ショウベン
②中国 ③聖徳大学
④柏南RC
⑤猫田 岳治



①ウィーラッペルマ ヴイクムデルシャン
②スリランカ
③千葉科学大学 ④銚子RC
⑤高瀬 幸雄



①アブドゥル ジャリル
②インドネシア ③千葉大学
④富津中央RC
⑤榎本 守男



①グザサル アリキン
②中国 ③千葉大学
④茂原中央RC
⑤中村 憲太郎



①ノミン
②中国 ③千葉大学
④千葉南RC
⑤大塚 裕正



①リュウ イ
②中国 ③千葉大学
④木更津東RC
⑤大澤 藤満



①フ セイシュウ
②中国 ③千葉大学
④君津RC
⑤廣田 二郎



①ヴァーティゴックアイン
②ベトナム
③東京成徳大学
④千葉北RC ⑤君塚 幸申



①コ ケイショ
②中国 ③東京大学
④柏西RC
⑤榎 隆夫



①イ ファジン
②韓国 ③東京大学
④新千葉RC
⑤中村 周二



①ムハマドリズキ アプリラ サブトラ
②インドネシア
③東京大学 ④野田RC
⑤古谷 光裕



①シストーンボン ポンサコーン
②タイ ③明海大学
④浦安RC
⑤太田 譲



①ブ ミン ドック
②ベトナム
③流通経済大学
④松戸東RC ⑤大越 竜美



①チョー ソービン
②中国 ③麗澤大学
④柏東RC
⑤佐々木 るみ子

◇米山学友会世界大会 「絆Inモンゴル」に参加して

国際ロータリー 第2790地区
2019-20年度 米山記念奨学委員会
委員長 鈴木 莊一 (君津RC)

2019年7月26日～29日に開催されました、第2回米山学友会世界大会INモンゴルに、当地区から漆原ガバナエレクトはじめ多くの皆さんと参加してきました。世界大会にふさわしかった式典・前夜祭はもとより、ガルバドラッハ実行委員長の設立した新モンゴル学園の見学、草原ツアー、ビジネスフォーラム、市内観光と濃密な4日間を過ごしました。その中で新モンゴル学園の見学ではガルバドラッハさんの当時の世話クラブを中心としたロータリアンが多く参加し、設立された学園の様子を感慨深く眺めていました。最後のあいさつで「『君の夢は私の夢』だから、あなたの夢を支援しよう」ということで、ガルバドラッハ会長の学校建設に懸ける夢に、山形を中心とするロータリアンが夢を託した経緯が紹介されました。おそらく奨学生時代、その後の日本滞在期間に濃密な付き合いで信頼関係をつくられたのではないかと考えます。

「今モンゴルでは日本で失われたものが芽生えている。国が大きくなるためには教育が大事、いい勉強をさせてもらいました」とガルバドラッハさんをいまだに支える柱一本の会会長のあいさつがありました。実際に2名の新卒の日本人も新モンゴル学園に就職、日

本の若者がモンゴルで経験を積んで、日本の教育現場で生かすため現場で学ぶということです。まさに「恩」がぐるぐる環っていく「恩送り」を目の当たりにしました。

また、ビジネスフォーラムでは5つのビジネス提案があり、質疑応答の中で「若い力がモンゴルを支えていることに涙が出ます。1つ1つのプロジェクトは本当に素晴らしい。今日発表した人と横の連絡をして、さらにモンゴルを発展させてほしい。モンゴルは草原だけでない、このような素晴らしい若者がいる。ご支援をよろしくお願いします」「米山事業は世界に役立つ人ということで見返りを求めずやってきた。今後モンゴルの経済を支える人間になったことを実感して満足しているし、日本のロータリアンを勇気付けることにもなるので、大変有意義な時間を過ごすことができました。米山の財産は皆さん1人1人だ」というようなお話がございました。

奨学生を預かる立場として、多くの奨学生が米山奨学生の立場で思う存分有意義な時間を過ごしていただきたいこと、これらのモデルを参考に実践することが大事ということを心より感じました。





青少年プログラム統括委員長就任挨拶

国際ロータリー第2790地区
2019-20年度 青少年プログラム統括委員会
委員長 **中澤 良夫** (四街道RC)

マローニー会長は、青少年に対する奉仕活動を大切にしようスピーチされました。

前RI会長バリー・ラシン氏は青少年プログラム、特にインターアクトクラブ、ローターアクトクラブの増強を掲げ、世界のインターアクトクラブ、ローターアクトクラブ数は増加しました。

世界的に見れば、ロータリーの青少年プログラムは12歳から参加可能な地区もあり、30歳までの18年間、青少年プログラムに参加することができ、各プログラムを通じて地域社会奉仕や国際理解を学び、リーダーシップを磨いています。

当地区の青少年プログラムには以下のものがあります。

- 1) 国際理解や地域社会奉仕を通してリーダーシップを磨く高校生を対象としたインターアクトクラブ
- 2) 18歳～30歳の青少年を対象としたローターアクトクラブ
- 3) 高校生を対象とした海外他地区との交換留学を行う青少年交換
- 4) 14歳～30歳を対象として、泊りがけでリーダーシップセミナーを行うRYLA

ローターアクトクラブにおいては前年、各スポンサークラブのご尽力により千葉マリンローターアクトクラブ、佐倉中央ローターアクトクラブ、鴨川ローターアクトクラブの3クラブが設立され地区内は計7クラブとなりました。

仮に各グループに1つのローターアクトクラブが存在すれば、地区内に計13クラブとなります。私たちは近い将来、地区内10クラブ体制を目指して努力していきますので、興味をお持ちのロータリークラブ各位には卓話に伺いますので、皆さんよろしくお願い申し上げます。

今年度の運営方針では、各委員会行事が活性化す

るよう、青少年プログラムの各委員会が互いに行事協力を行うとともに、気付きやアイデアを自らの行事に取り入れて、効果的に委員会を運営していきます。

一例としては、高校生を対象としたインターアクトクラブは、さらに活動を充実させるためインターアクターを青少年交換委員会の交換留学候補生にエントリーさせたり、交換留学生や候補生がRYLAセミナーに参加してリーダーシップを磨いたり、ローターアクトクラブは各行事に協力することにより自らのリーダーシップと仲間の絆を養います。

ローターアクトクラブが各行事協力を行うことで、高校生やRYLAセミナー参加者に広報や増強を行い、ローターアクトクラブは活性化します。

そして米山委員会とは数年前より行事協力をお願いしており、青少年プログラム参加者には身近な国際理解の場として効果を上げています。

さらに学友会とも協力し合い、若者の輪を広げていきます。

青少年プログラム参加者が成長に伴い、インターアクター、青少年交換留学生、RYLAセミナー卒業生からローターアクターになり、将来はロータリアンとなることを期待していますので、皆さんも身近な青少年をご紹介しますようお願い申し上げます。



「青少年交換派遣認証書授与式&歓送会」にて

委員長就任にあたって



インターアクト委員会
委員長
藤代 祐孝 (四街道RC)

第2790地区 2019-20年度の地区インターアクト委員長に就任させていただきました。1年間どうぞよろしくお願い申し上げます。

地区内には提唱高および提唱クラブが14ございます。そして千葉県高等学校文化連盟、14校の顧問教諭の方々、提唱クラブのインターアクト委員長および青少年交換委員長の方々のご理解ご協力の上、インターアクターの活動および成長につながるイベントと安全確保を第一として運営してまいります。

8月6日の第53回インターアクト年次大会では、ホスト校千葉商業高等学校、ホストクラブ千葉西RCの皆様のご協力の下、200名規模の会を開催す

ることができました。ローターアクター、米山奨学生の協力もあり、大変活気のある有意義な会となり、無事に終了することができました。大変感謝申し上げます。これから、11月には国外研修、来年5月には指導者講習会と、インターアクターの未来に向けて活動してまいります。

未来の、次世代のロータリアンにつながっていく地道な活動ではありますが、提唱RCの皆様方をはじめとし、多くのロータリアンのご理解ご協力があるからこそだと思います。

どうぞ皆様よろしくお願い申し上げます。



ローターアクト委員会
委員長
原田 宗広 (千葉若潮RC)

今年度、本委員会では、以下2つのテーマを念頭に置いた活動をしていきたいと考えています。

まず1つ目は、地区内ローターアクトクラブの活性化です。これにはローターアクトの会員増強はもちろんのこと、意識や行動の改革が必要と考えます。ローターアクト会長幹事会を中心とした地区行事で、ローターアクターとしての見識を高め、それを実践していきます。年間プログラムの中に、奉仕活動をより多く取り入れていくようにアドバイスしていき、加えて国際交流の機会も可能な限り増やし、グローバルに活躍できるローターアクターを増やしていきたいと考えています。今年に限っては、来年1月に日台韓の3カ国交流会が当地区ホストで

開催されます。またとない国際交流の機会ですので、地区としても全力で支援していきたいと考えています。

2つ目は新設クラブの支援です。昨年度は3つのローターアクトクラブが誕生しました。

ロータリーの理念はもとより、例会や事業の作り方などといった、クラブ運営を提唱ロータリークラブとともにしっかりと支援していきます。

非常に盛り上がりを見せ、注目も浴びている当地区のローターアクターからロータリアンへ活動報告ができる場をより多く設け、今までアクターに無関心だったり存在すら知らなかったロータリアンを減らし、1つでも多くの提唱クラブが増えることを狙います。

未来を担うのは、いつの時代も若者たちです。ローターアクターは、18歳から30歳までの青年男女といった、まさにそれに相応しい年代の組織体です。有望な若者達を次世代の素晴らしいリーダーに育て、将来のロータリアンの増強にもつなげていきたいと思っております。

委員長就任にあたって



青少年交換委員会
委員長

小菅 和彦 (習志野中央RC)

この度、地区青少年交換委員会の委員長として就任2年目の機会をいただきました。2年目に当たり、改めて委員会の役割について、次の3つが大切であろうと考えました。

1つ目は、「交換前の準備」です。例年、交換前の1年間、ひと月に1回の地区オリエンテーションを開催しています。この地区オリエンテーションには、交換前の準備が集約されています。すなわち、アプリケーションフォームの作成・提出方法、学生たちにロータリーを知ってもらう契機、交換のルールを知る契機、人前でのスピーチ力の育成、ロータリーから学生達への期待内容、交換時の災害やハラスメントに対する危機管理などなど、講義とディスカッションの多くの場となります。この地区オリエンテーションの内容を考え、実行することは、委員会として大切な役割です。

2つ目は、「交換中のサポート」です。学生たちは、異国の地で親元を離れて不安や悩みを持っているのが通常で、だからこそ多くのサポートが必要です。確かに、このサポートは、クラブカウンセラーをはじめとするホストクラブやホストファミリーが行うのが一般的でしょう。しかし、地区委員会は、学生達にはもちろん、ホストクラブやホストファミリーについてもサポートできるほどの多角的な視野と経験を持ち合わせるべきだし、またそうでなければならぬと考えます。

3つ目は、「交換後の若者の育成」です。我らロータリアンの大きな期待の1つは、交換後の若者に、将来ロータリアンになってもらうことです。交換後の若者は、外国語に優れ、外国の文化を熟知し、外国人と多く交流し、多くの外国人の友人を持っています。これら有望な若者に将来ロータリーで活躍してもらいたい。そのような交換後の若者を、委員会が率先して育成せねばなりません。

このように、「交換前の準備」「交換中のサポート」「交換後の若者の育成」の3つが地区青少年交換委員会の大切な役割だと考え、これらを常に心得て活動を繰り広げたいと考えています。



RYLA委員会
委員長

黒岩 靖之 (君津RC)

昨年度に続き、RYLA委員長を仰せつかりました、君津RCの黒岩靖之です。

「Rotary Youth Leadership Awards (ロータリー青少年指導者養成プログラム)」の頭文字をRYLA (ライラ) といいます。

RYLA委員会では、地区内各クラブより推薦を受けた若者(14歳~30歳)を対象に、ロータリー青少年指導者養成プログラムを開催しています。今年度で43回目となります。

RYLAの目的は、若者がそれぞれの地域やその範囲を超えてリーダーとして活躍できるための手助けとなることです。RYLAの手法や日数は、各地区によってさまざまですが、当地区では、長年「歩行ラリー」を教材にしており、今年度も1泊2日で開催する予定です。

RYLAに参加した若者とロータリアンは、1泊2日という短い日程の中で、寝食を共にしながら、日常生活

においては考えもしないような問題に向き合い、体験・議論・検証を繰り返し、答えを導くために協力し合います。初めて会った人達とペア・チーム・ユニットを組み、初めて会った人たちの前で自分の考えや意見を言うこと、他人の意見を聞くこと、年代の違う人の考え方に刺激を受けること、将来の職業に対する考えを持つこと、いろいろな観点において、参加者皆さんが何かしら感じていただけることは多いと思います。毎年、参加者からの感想をもらっていますが、RYLAの素晴らしさを実感していただけていると思っています。

2018-19年度のRYLAは今年2月に開催されましたが、若者を推薦していただいたクラブは、25クラブしかありませんでした。今年度は、RYLAに参加したことがないクラブからも推薦を、ぜひともお願いしたいと思っています。

また、RYLAの開催に欠かせない存在として、RYLA実行委員の皆様がいます。各グループ・各クラブにおかれましては、RYLA実行委員の推薦をよろしくお願い致します。

皆様のご協力をよろしくお願い致します。

第43回RYLAセミナー

開催予定日 2020年2月15日(土)~16日(日)

場 所 南房総市岩井海岸「甚五郎」

RI会長代理決定



きた せいじ
北 清治 様
(浦和東RC所属)

生年月日：1941年6月22日生
勤務先：株式会社 シン建工業株式会社 代表取締役会長
AKS (アーチ・クランフ・ソサエティー)
ポールハリス・ソサエティー
北清治・信子冠名奨学基金設立/遺族友の会会員
メジャードナー/米山記念奨学会メジャードナー(33)
2005年6月 RI会長賞
2005年6月 ロータリー財団功労賞

【ロータリー歴】

1982年5月 浦和東ロータリークラブ入会
1999~00年度 浦和東ロータリークラブ会長
2004~05年度 国際ロータリー第2770地区ガバナー
2007~10年度 RRFC(ロータリー財団地域コーディネーター)
2010~12年度 恒久基金日本委員会副委員長
2010~12年度 ARC(ロータリーコーディネーター補佐)
2011~12年度 ロータリー東日本震災復興基金日本委員会委員
2012~16年度 公益財団法人ロータリー日本財団評議委員
2012~13年度 2013年リスボン国際研究会副委員長
2013~14年度 RI理事 青少年交換委員会連絡担当理事
2014~15年度 RI理事 理事会執行委員会委員
職業奉仕委員会連絡担当理事
2015~21年度 RLI(ロータリー・リーダーシップ研究会)日本支部委員長
2015~16年度 ロータリー平和センター大口寄付推進
計画委員会委員
2015~17年度 日本のロータリー100周年委員会委員長
2016~20年度 公益財団法人ロータリー日本財団理事
2017~20年度 ロータリー財団管理委員会資金管理委員
及び表彰検討委員

コーディネーターニュース

規定審議会(COL)で見たRIが会員増強にかける熱意の本気度

1. 私は去る4月のCOLに第2690地区代表議員として参加した。その中で最も議論白熱した案件はバリー・ラシンRI会長自らが提案者となった制定案19-72(ローターアクトクラブにRI加盟を認める件)であったと思う。彼が我々に必死に説明し、賛成するよう懇願した時の姿は忘れられない。結局、最初は否決、しかし翌日、動議を出し、また熱心な討議後の再採決は賛成多数で採択され、RACは正式にRIの仲間になった。議論の中で反対意見の中心は日本選出議員であった事に注目したい。私はこれを見てRIは何が何でも会員増強を最優先に考えているなと感じた。
2. 6月末日本全国でクラブ合併が3件あった、つまり6クラブが3クラブに減ったということ。さらに終結クラブは7あったことから、自動的に合計10クラブ(衛星クラブも含めるならば12クラブ)減少したことになる。また、気になるのは終結したクラブ名の中の3つは、多分創立50年以上と推定できる由緒あるクラブも存在していた。これは何を意味するか、その原因や実態を深く検証してみる必要があるだろう。
3. 自クラブに応じた長期的ヴィジョンを持ち、地道な戦略計画を確立し、会員全員があらゆる情報を共有し、各自が新会員最低1名を確保する意気込みこそ大切で、クラブ会長や増強委員のみに任せるのは絶対禁忌である。
4. 今後、会員増強 or 会員基盤強化は、日本の伝統的価値観を基に従来型の会員募集をするのか、欧米型の中核的価値観重視、その上柔軟性を前面に出した会員募集をするのか、私はそれをあまり問題視しない。それより両者をミックスしたものか、または両面作戦の同時実施こそが会員基盤強化への道ではないかと思う。
5. 現今のRI最大目標は会員増加であり、我々日本のロータリーは会員数の目標を105,000人と設定し、現在の2.5から今迄通りの3ゾーンに復帰・確保することだ。今後もRIの最大関心事である会員基盤強化に向け、我々も声高く叫ぼうではありませんか。

第3地域ロータリーコーディネーター補佐 伊藤 文利

寄付者紹介 (敬称略)

ロータリー財団寄付

メジャードナー



木村 仁
(柏RC)

ポール・ハリス・ソサエティ



今山 利猛
(柏RC)

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー



佐野 正子
(浦安RC)
6回目



神谷 修一
(成田コスモポリタンRC)
4回目



石井 量久
(成田コスモポリタンRC)
3回目



池田 和彦
(成田コスモポリタンRC)
1回目

新ポール・ハリス・フェロー



奥村 國雄
(成田コスモポリタンRC)

新ベネファクター



原 啓介
(千葉幕張RC)

ポリオプラス



三木 敏靖
(市原RC)

米山功労者



鈴木 秀承
(鎌ヶ谷RC)
18回目



小川 賢
(成田RC)
13回目



設楽 正行
(成田RC)
12回目



鈴木 桂三
(柏西RC)
10回目



榊 隆夫
(柏西RC)
10回目



飯生 高一郎
(八千代RC)
10回目



三木 敏靖
(市原RC)
8回目



日暮 肇
(柏西RC)
5回目



奥村 國雄
(成田コスモポリタンRC)
2回目

新ロータリアン (敬称略)



田中 幹明
(浦安ベイRC)
ホテル業
7月1日入会



佐藤 正幸
(習志野RC)
造園
7月10日入会



藤本 一磨
(習志野RC)
学習塾
7月10日入会



大塚 孝典
(浦安ベイRC)
貸しビル管理業
8月1日入会



吉川 政好
(松戸中央RC)
金融業
8月1日入会



水澤 伸浩
(市原RC)
専門サービス業
8月7日入会



名雪 浩幸
(小見川RC)
電気工事業
8月7日入会



門井 宏二郎
(松戸RC)
証券業
8月7日入会



吉田 稔
(船橋RC)
普通銀行
8月20日入会



神 正臣
(柏南RC)
リフォーム業
8月20日入会



鳥海 直樹
(成田コスモポリタンRC)
経営コンサルタント
8月24日入会



富山 保昭
(千葉幕張RC)
損害保険
9月3日入会



神谷 繁樹
(松戸西RC)
建築設計
8月1日再入会



ポリオ根絶に向けて世界が一つに

今年10月24日、国際ロータリーのフェイスブック(日本語ページを含む全言語)でポリオ根絶の特別プログラムが配信されます。今年各地域の時間に合わせて配信され、日本を含むアジア地域のプログラムは24日の晩に配信予定です(詳しい時間は後日、国際ロータリーの日本語フェイスブックページでご確認ください)。近日中にフェイスブックのイベントページが開設されますので、「参加予定」をクリックしてぜひご参加ください。

皆さんの地元でも世界ポリオデーにちなんだ基金やイベントを行い、ポリオ撲滅をご支援ください。

国際ロータリー第2790地区(千葉) 暫定出席記録・会員数報告(2019年8月分)

グループ	クラブ名	出席率 (%)	例会数	会員数				
				2019 7/1	女性	当月	女性	増減
第1グループ	市川	100.00	3	42	3	41	3	△1
	市川東	100.00	2	42	2	42	2	0
	市川南	87.00	3	23	2	23	2	0
	浦安	89.70	4	42	1	42	1	0
	市川シビック	76.88	3	33	0	34	0	1
	浦安ベイ	75.00	3	15	0	16	0	1
平均	88.10	3.00	32.83	1.33	33.00	1.33	1	
第2グループ	船橋	93.37	3	30	0	31	0	1
	船橋西	86.63	4	39	7	39	7	0
	鎌ヶ谷	81.72	4	30	2	30	2	0
	船橋東	87.41	4	29	2	30	2	1
	船橋南	96.67	3	11	1	13	1	2
	船橋みなと	80.28	3	18	4	19	4	1
平均	87.68	3.50	26.17	2.67	27.00	2.67	5	
第3グループ	千葉	92.64	3	96	3	102	5	6
	新千葉	70.78	3	55	0	55	0	0
	千葉西	91.11	3	50	4	52	4	2
	千葉中央	92.93	3	27	0	26	0	△1
	千葉幕張	90.09	3	34	3	37	4	3
	千葉東	75.88	3	29	2	30	2	1
	千葉若潮	64.37	3	30	1	32	1	2
	平均	82.54	3.00	45.86	1.86	47.71	2.29	13
第4グループ	千葉南	86.11	4	47	7	47	7	0
	市原	65.98	2	52	4	53	4	1
	千葉港	82.61	2	25	4	25	4	0
	市原中央	81.15	3	47	1	47	1	0
	千葉北	65.57	3	29	4	30	4	1
	千葉緑	83.33	2	21	1	21	1	0
	平均	77.46	2.67	36.83	3.50	37.17	3.50	2
第5グループ	木更津	75.38	4	31	5	31	5	0
	上総	51.08	3	14	0	15	0	1
	富津中央	66.28	4	35	2	38	5	3
	木更津東	89.43	3	44	5	46	5	2
	君津	75.35	3	57	5	58	5	1
	袖ヶ浦	84.94	3	24	4	25	4	1
	富津シティ	85.71	3	14	1	14	1	0
	平均	75.45	3.29	31.29	3.14	32.43	3.57	8
第6グループ	館山	87.92	3	46	4	45	4	△1
	鴨川	83.84	3	34	5	34	5	0
	勝浦	92.03	3	41	5	45	6	4
	千倉	50.00	2	4	2	4	2	0
	鋸南	75.55	3	15	2	15	2	0
	館山ベイ	65.32	3	24	0	24	0	0
平均	75.78	2.83	27.33	3.00	27.83	3.17	3	
第7グループ	茂原	80.79	4	58	4	60	4	2
	東金	86.50	3	19	1	20	1	1
	大原	88.75	4	10	1	10	1	0
	大多喜	86.66	3	5	1	5	1	0
	成田空港南	72.28	3	31	0	32	0	1
	茂原中央	73.86	4	20	2	22	2	2
	大網	74.71	3	29	1	29	1	0
	東金ビュー	77.10	3	16	1	16	1	0
平均	80.08	3.38	23.50	1.38	24.25	1.38	6	

グループ	クラブ名	出席率 (%)	例会数	会員数				
				2019 7/1	女性	当月	女性	増減
第8グループ	銚子	79.55	3	39	3	39	3	0
	旭	70.10	3	43	4	43	4	0
	八日市場	73.65	4	38	3	38	3	0
	銚子東平	77.51	3	33	2	33	2	0
平均	75.20	3.25	38.25	3.00	38.25	3.00	0	
第9グループ	佐原	67.85	4	48	0	49	0	1
	多古	73.26	3	16	0	16	0	0
	小見川	88.93	3	27	0	28	0	1
	佐原香取	86.67	3	24	1	24	1	0
平均	79.18	3.25	28.75	0.25	29.25	0.25	2	
第10グループ	成田	70.78	4	65	4	64	4	△1
	八街	90.74	3	30	3	31	3	1
	印西	90.15	2	16	1	16	1	0
	白井	58.33	3	12	1	12	1	0
	富里	76.66	3	30	0	30	0	0
	成田コスモポリタン	64.14	4	67	0	72	0	5
平均	75.13	3.17	36.67	1.50	37.50	1.50	5	
第11グループ	柏	67.17	3	65	10	66	10	1
	我孫子	72.91	3	31	3	32	3	1
	柏西	85.16	4	64	3	63	3	△1
	柏東南	75.76	3	41	8	41	8	0
	柏平均	81.82	3	41	9	42	9	1
平均	76.56	3.20	48.40	6.60	48.80	6.60	2	
第12グループ	習志野	70.23	3	24	1	26	1	2
	八千代	90.51	4	52	0	52	0	0
	佐倉	72.37	4	37	3	38	3	1
	八千代中央	76.70	3	23	1	23	1	0
	四街道	72.62	3	29	4	28	4	△1
	習志野中央	68.54	3	47	4	50	5	3
	佐倉中央	80.30	3	23	5	22	5	△1
	平均	75.90	3.29	33.57	2.57	34.14	2.71	4
第13グループ	松戸	91.59	3	60	0	60	0	0
	松戸東	92.41	4	49	0	49	0	0
	松戸北	75.82	3	33	0	33	0	0
	松戸中央	78.14	4	42	7	43	7	1
	松戸西	83.33	3	29	0	30	0	1
平均	84.26	3.40	42.60	1.40	43.00	1.40	2	
第14グループ	野田	77.21	3	54	6	54	6	0
	流山	73.81	3	14	3	14	3	0
	野田東	62.50	4	18	0	18	0	0
	流山中央	85.00	3	21	2	22	2	1
	野田セントラル	77.33	3	25	1	25	1	0
平均	75.17	3.20	26.40	2.40	26.60	2.40	1	

クラブ数 82RC

2019年7月1日	地区会員数	2,777人
2019年8月末日	地区会員数	2,831人
2019年7月1日	地区女性会員数	201人
2019年8月末日	地区女性会員数	209人
当月平均出席率		79.83%
増減		+54
女性会員増減		+8

物故会員 (敬称略)



小島 幸雄 (勝浦RC)
 逝去日：2019年8月22日 (享年90歳)
 入会日：1963年4月1日
 ロータリー歴：1971-72 クラブ会長
 1974-75 分区代理
 1983-84 周年事業実行委員長

↓地区HP



ロータリーレートのご確認につ
 きましては、右記QRコードから
 「地区HP」をご確認いただきます
 ようお願い申し上げます。



ロータリー財団補助金奨学生帰国報告

マイノリティとして生きた1年半

2017-18 年度グローバル補助金奨学生 渡辺 紗穂

はじめに、無事に1年半のオーストラリア留学を終え、クイーンズランド大学大学院の応用言語学部 TESOL (英語教授法) 修士号を取得することができました。この場をお借りして感謝申し上げます。

私は7年前の2012年にも同大学で交換留学をしました。それから5年、働きながら入学試験に合格したものの、費用の問題にぶつかり、奨学生合格の電話をいただいた際は、重たかった扉がようやく開いたように思いました。また、私が大学院留学の決意を強くしたのは、教員生活の中で発達・学習障害を持つ生徒たちと出会った経験に起因しています。

受け入れ先のケンモアRCでも、隔週の例会はもちろん、難民ボランティアや知的障害児童を支援するプログラム、本当にさまざまな経験をさせていただきました。そして何よりも、私に関わってくくださった全てのロータリアンの皆様方が、学業に専念できるよう常にご配慮してくださったお陰で、本当に充実した学生生活を送ることができました。

卒業間近、ありがたいことに、さまざまな方々から「オーストラリアに残ったら？」と尋ねられました。私の答えは「No」でした。それは、外国人として生きていく覚悟が足りないと思ったからです。ブリスベンには3度もの留学経験があります。それだけ行っているのに？と、お叱りを受けてしまうかもしれません。しかし、この言葉にしにくい不穏な感情こそが、私が日本のインクルーシブ教育に貢献していきたいと思える原動力でもあるのです。

外国人として、課題をする、役所に行く、何をすることも誰かの「支援」が必要でした。周りで支援してくれる人のありがたみが分かるからこそ、相手の好意を疑ってしまい、なぜ優しくされるのか、外国人だから？日本人だから？それとも、あまりに不憫だから？と。そして、その支援は継続しないかもしれないという不安が常に付きまといまいます。そんな周りの人の好意すら

疑ってしまうことに罪悪感を覚え、けれど、周りが当たり前に行えることができないことで劣等感が芽生え…。同時に、私は日本の「社会」ではそんなことを感じなかったことにも気づかされます。

この留学を通して思うことは、世の中の制度や社会そのものが、大多数に合わせてデザインされているということです。私は日本で、日本人としての恩恵を受けて育ってきました。その制度に埋もれている人や苦しんでいることを知りながら、その社会的地位がさも自分の価値であるかのように振る舞ってきたのです。授業中は座る、人の目を見てコミュニケーションを取る、お風呂に毎日入る、中学2年生までには〇〇できていないといけない…こういった当たり前の常識や制度や社会の仕組みは、大多数のために長い歴史をかけてデザインされてきたもので、**制度が違えば立場が変わっていたかもしれない、と思うのです。我々や我々のためにある制度自体が、発達・学習障害を持つ彼らの障害になっているのではないかと。**

特別支援教育の「特別」な支援とは誰から見て、特別なのでしょうか。留学を終えた時点での私の個人的な意見ですが、近い将来、

「うちの子、発達障害なんだよね」の響きが、
「うちの子、左利きなんだよね」

と同じように感じられる日が来たらいいな、と思っています。誤解を招く言い方にもなりかねないので、そう思った経緯については、お会いした際にお伝えさせていただければと思います。

帰国後の4月からは都内の中学校に勤務しております。この留学で得た知識と経験を現場で生かせるよう日々邁進して参ります。最後になりますが、このような機会をいただきまして誠に感謝申し上げます。これからもロータリークラブのますますのご発展お祈り申し上げます。

